

(1) 昭和28年3月24日第三種郵便物認可
昭和29年5月28日日本国有鉄道特別扱承認雑誌2816号

未汚職の行政処分発表



発行所
和歌山市小松原通1丁目
和歌山县
毎月1回1日印刷発行
定価1部2円50銭

今後生活の建設運動
冠婚葬祭の改革
貯蓄の励行
衣食住の工夫と
改善

（財務課（現在は財政課）へ
送付される。これに基づいて
税務課が寄付金納付書を発行し
納入である町村長は指定され
た県金庫へ直接寄附金を納入
する）ことになり、工事
は土木出張所が寄付金の納入

事務量増加

り、いまおこる緊急の事業実務に重点がおかれ、事務の整理や手続に十二分の注意が払われてこながったうのみが

宗教法人にご注意

月赤

県の機構にも盲点

『岡事件』の概要とその反省

県では末部道営に従事して、別項のとおり小野町事件以下二十件の行政処分を決定し、金職員が自潔自戒の精神に徹して明郷県政推進への誓いをあらたにしているが、去る十月六日、今回の汚職事件の中心となりた五嶋謹謹開國方治の第一審最終裁判が行われ、事件が、この開昭和二十六年十一月

の公報があつたばかり、刑罰の決定をかたむけた機会に、改めて、いわゆる闇事件の経過をありかえて反省の一助とした。開國方治は昭和十四年四月から六万二千九百五十一円を前後三十九回にわたって横領したといふ工事の地代賃附金一千九百三十円を勤務、県道改修事業に伴う業務を担当していたが、この判決によつてあきらかにされた事件の概要である。地元寄附金といふのは、県が

『貯蓄のつどい』ひらく

みんなのしあわせつづくよう、せっせと貯金をふやしましよう！……明るい歌声が会場に流れる。

去る22日午後1時から丸正百貨店4階の劇場で和歌山県ならびに県貯蓄推進委員会主催の「貯蓄推進のつどい」が催された。

10月17日は貯蓄の日、9月1日から10月20日までが、自立促進貯蓄運動と全国でいろいろ催されているが、今年は豊作だったので本県の農村辺りは一般に景気がよく、このみのりの秋にこそ貯金をふやそうと開かれたもの。参加者は会場超満員の約800人、県厅コーラス団の貯蓄の歌（ママのひとりごと）で幕を開け、副会長荒木副知事の挨拶につづいて漫才・お笑い貯金箱、奇術腹話術歌謡曲などその界のベテランを集めての余興に、たのしつどいのひとときをすごした。

中川賀天（総務部次長）▼総務部次長へ下林弘（管財課長）▼
財課長へ下林弘（管財課長）▼政課長（農改課長代理）▼監理課長
人事異動を左のとおり発令。
〔十一月二十六日付〕総務部長へ 副出納長へ土肥定夫（出納審長）

総務、土木両部長更迭

係長以上の人事異動発令

の復旧に伴い、事業を行ふ課 備、人事異動などを実施して、
の事務量が異常に増大してお この種事件を再び繰り返すこと
る樹立に一段と努力する。
係長以上の人事異動発令 まれる。

県末部の汚職事件について小野知事は、去る六月県議会の冒頭および本紙（八月号）を通じて百万県民に諭説したが、一応検察金局の取調べが落ちたのを機会に、十月二十日知事自身が監督不十分の責任を負い、事決処分で知事の給与減額の条例を定めて一年間三割減俸を決めたほか、二十一日に職員委員会を開いて荒木副知事を三分の一減俸一ヶ月（十月中で任期満了のため）田鶴常任監査委員をけん責、以下一般職員二十二名を減俸した。これは事件の直接関係者だけでなく、知事、副常任監査委員をはじめ総務部長、当時の税務課長、道路理らの監督責任者についてあとの責任をたたし、綱紀のほがたものである。

小野駄馬事は处分の決定と同時に談話を差表して、「職員の数年にわたる犯行を早期に察知できなかつた手落ちはあらへん、公務員として最も恥すべき職員三十名の処分はつゝことより。	さらに知事自身も最善の努力を払つたことを誓つた。
【減給】十分の一減給六ヶ月＝一ヶ月半代理下村義一＝十分の一減給三ヶ月＝監理課員鈴木郁男＝同二ヶ月田村国雄＝二ヶ月の減給一ヶ月＝橋本末出張の減給一ヶ月西澤龍郎＝道路課員矢野君太郎＝同原務係長上田秀男＝同所員大西達郎＝道路課員務係長則岡好道＝同課員山田仁義夫＝監理課長坂口總一橋本末	加賀見一郎
【戒告】総務部長津名五良＝菅原義長下林弘（事件担当課の監督	した場合、地方の町村が行われた協会で工事費の何割合を負担し、寄附金として貯納されるものをいう。正の順序としては、先ず地元の順序から、資材類が提出され、次いで知事の許可指揮を受け、次いで工事費の何割合を負担し、寄附金として貯納される。同時に審査料が道路課員が支拂ふこととする不信をもたらして県民に譲達すべき大事などきに、県政
【戒告】総務部長津名五良＝菅原義長下林弘（事件担当課の監督	した場合、地方の町村が

のとあるれる。また、寄付金の一部を金庫へ納し、その領収書を金額の数字に改ざんして町村へ送付、差額を積した場合もあり、着服未納金の発覚を防ぐために税務課へは適当な理由をつけて寄付金額の文書を出す、といった巧妙な手段がどふれじたことを説明した。

のる。収入調定資料を税務課に送付しないで直接町村へ寄付金の納入を督促し、手元に渡されてしまった寄付金をそのまま着服していくなどいふ例が多い。この場合は商名變じたのは路譲業者の仮領收書を発行しており、これによつて町村も玉木出張所も寄付金が両の手で金庫へ納入されたものとして手続きを進めただも

事務量増

送付される。これに基づいて
税務課が寄付金納付書を発行
納人である町村長は指定され
た県金庫へ直接寄付金を納入
することによっており、工事
は土木出張所が寄付金の納付
を確認してから着手する。

このようしたくみに県機関の
陥つた悪質な犯罪である
が、それにして二年余りも
見えてきなかつた貢忠は果して
處にあつたかどうか两点を反省す
てみると

① 従来、出納員以外の職
が現金を取り扱つことぶつ

り、これが緊急の事業実績に事務がおかれ、事務の辦理や手続に十二分の注意がわれしながいたるのみがる。

宗教法人にご注意

宗教法人である寺院、神社、教会などの土地建物の承継及び保存の登記をまだ完了していない法人は、至急手続をされねばなりません。特に旧宗教法人から承継した境内建物、境内土地以外の建物、土地（宅地、山林など）の登記は、昭和三十一年六月三十日以後は登録税が免除されないことになりますから、まだ手続きをしていない法人は」の謹言へ結了して下さ。

今月未





◆結婚改善◆
嫁入りは
衣裳持ちより
心持ち

役立つた卵貯金で表彰

海南みどり友の会

来月から給水

県の第五回新生活セチル村の選定は、小計三十五所体のなかから審査を行ったが、海南みどり友の会が「住生活の改善」部門で県第一位に入選

市農居の生活改善グループ、海南みどり友の会が「住生活の改善」部門で県第一位に入選。十一月八日に知事から表彰されることになった。

みどり友の会代表者奥小学校は、六年八月に発足し毎月十六日に開かれる定期会で衣食住の改善などの計画を策め、お互い助け合ひながら明るい農家生活への

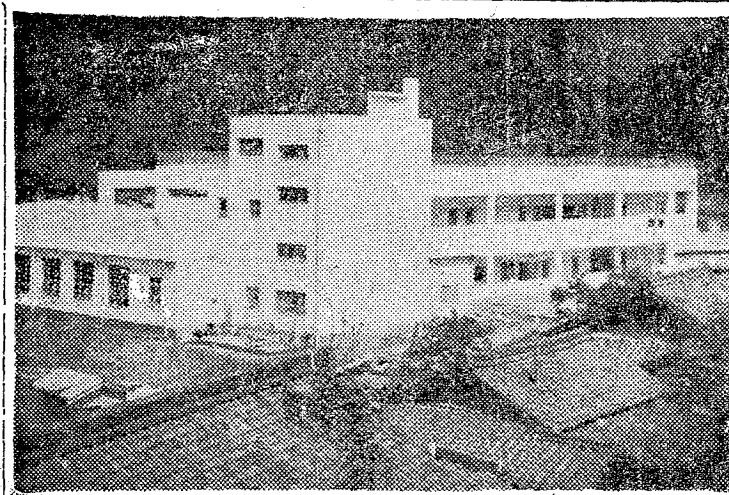
統合へ向けて奮闘することに

なり、今もなおこの卵貯金は

集めて共同販売し、その金を信

用組合へ預けて蓄積することに

なり、今もなおこの卵貯金は



白亞の殿堂 に緑が完成す

岩倉中学の校舎

完成する

被災を受けた

岩倉中学校

の校舎

完成する

建物は総工費二

六五五万円で

工事は昭和三十

年九月二十日

に竣工した。

この新校舎は總

金額で建設して

強してある。【写真・越王】

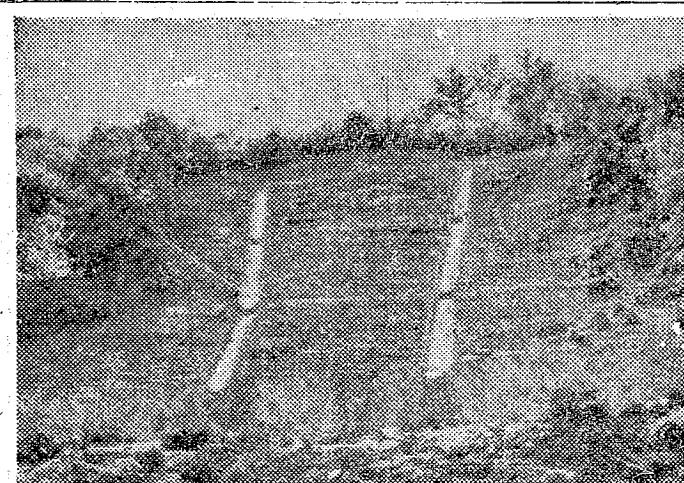
岩倉中学校

の校舎

完成する

被災を受けた

岩倉中学校



県では治山工事を強化するため造林事業の実施や林道整備等を進めているが、とりわけ多い本郡の森林地に対し三十年は次のような計画で工事を進めるところになった。

治山工事

事業費の半数一千百萬円で計画

設計されるが、その施行地と

経営は次の通りである。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

栗柄川村大字熊野山一、七三〇

二川村大字小松原一、七五〇

近野村大字野中一、七〇〇

三川村大字梁谷一、八〇〇

甲子町大字安安一、八〇〇

一方造林計画は富士見村の四二七

町歩を頭に三千町歩を、三十

延長石九二尺二〇を着する。

一年春の造林期をあわせて実

行なう所である。

長野大字伏魔野一、四五五

